

地球温暖化の防止に協力を

泉大津 R C 藤原重行

泉大津ロータリークラブは、創立50周年記念事業として南海本線泉大津駅・東ロータリーにハイブリッド風力発電システム（太陽電池モジュール付）・3基とサーモタワー（温度計）を建立し、『ロータリーの標（しるべ）』と名付け、泉大津市へ寄贈いたしました。

現在、日本はエネルギー問題や京都議定書により『環境』に強い関心もたれています。

市の顔であり中心地である駅ロータリーに、『よりクリーンなエネルギー』への転換、『地球温暖化の防止』の推進のモニュメントの設置は大変意義のあるものであり、市民の環境意識の高揚に役立つものになると思います。

地球は多くの材料により構成されています。その大部分を覆う海水は地球温暖化の影響で水温が上昇し、台風の発生が増えるなど他の大きな災害が起こしています。

水は熱を伝えにくく、かつ非常に熱を蓄える力の大きいものです。氷点下になってもなかなか凍結しません。自然界で最大の熱容量（熱を蓄えられる大きさ）をもつ水を、地球温暖化で海水温が上昇したとき、もはや人類に海水温を下げる力はありません。

地球温暖化の防止に協力を！

